

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 株式会社トウペ
 コード番号 4614 URL <http://www.tohpe.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 加東 保
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月16日

上場取引所 東大

TEL 072-243-6411

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	12,162	—	△625	—	△673	—	△747	—
20年3月期第3四半期	12,720	2.3	△59	—	△69	—	△62	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△28.77	—
20年3月期第3四半期	△2.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	16,820	1,932	11.0	71.76		
20年3月期	16,301	2,847	17.0	107.38		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 1,856百万円 20年3月期 2,779百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,900	△6.3	△600	—	△670	—	△750	—	△29.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	26,000,000株	20年3月期	26,000,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	133,570株	20年3月期	123,275株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	25,871,955株	20年3月期第3四半期	25,885,531株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については2ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
 ・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機の影響が経済状況に大きな影響を与え、日本国内においても景気は急速に減速感を強めてまいりました。

このような状況の下、原油価格の高騰を起因とする原材料費の上昇を吸収するため、生産コストの削減や調色体制の強化及び販売価格の是正に努めましたが、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は12,162百万円(前年同期比4.6%減)となり、損益につきましては、売上原価率の悪化もあり、営業損失625百万円(前年同期は59百万円の営業損失)、経常損失673百万円(前年同期は69百万円の経常損失)、四半期純損失は747百万円(前年同期は62百万円の四半期純損失)となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりです。

①塗料

鋼構造物用塗料分野は橋梁関係が堅調に推移しましたが、その他の分野では工業用塗料分野の粉体塗料を除いて景気低迷の影響を受け伸び悩み、塗料事業の売上高は9,776百万円となりました。

②化成品(アクリルゴム・接着剤等)

化成品事業においては第2四半期までは順調な伸びを示しましたが、第3四半期はアクリルゴムが自動車関連の需要の急激な落ち込みの影響を受け大幅に減少したため、化成品事業の売上高は2,385百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて519百万円増加し16,820百万円となりました。資産の増加は、主にたな卸資産の増加によるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ1,435百万円増加し14,889百万円となりました。負債の増加は、主に借入金増加によるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて916百万円減少し1,932百万円となりました。純資産の減少は、主に利益剰余金の減少によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結会計期間における実績を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成20年10月31日公表いたしました平成21年3月期の連結・個別通期業績予想を修正いたしました。詳しくは本日別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、高騰を続けた原油価格の下落により、第4四半期は原材料費等の減少も予想されますが、市場環境の大きな変化があり、先行きは極めて厳しい状況となっております。

当社グループは、直面する厳しい事業環境を乗り越えるため、不採算品の廃止や品種の統合等による採算重視の営業活動を展開するとともに、生産効率の向上を図り徹底した原価低減を推し進め、業績の回復を図ってまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

③連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	790,486	814,871
受取手形及び売掛金	5,519,427	5,339,485
有価証券	10,688	10,642
商品及び製品	1,760,647	1,504,000
仕掛品	290,584	282,024
原材料及び貯蔵品	420,421	329,661
その他	263,893	224,278
貸倒引当金	△49,900	△49,385
流動資産合計	9,006,246	8,455,576
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,109,431	4,109,431
その他(純額)	2,178,608	2,017,262
有形固定資産合計	6,288,039	6,126,693
無形固定資産		
投資その他の資産	32,109	21,110
投資有価証券	1,407,574	1,613,598
その他	406,529	405,020
貸倒引当金	△320,201	△320,830
投資その他の資産合計	1,493,902	1,697,788
固定資産合計	7,814,050	7,845,591
資産合計	16,820,296	16,301,167
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,477,155	6,266,649
短期借入金	800,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	1,483,028	1,143,140
未払法人税等	32,259	26,148
その他	1,224,361	1,193,153
流動負債合計	10,016,803	9,179,090
固定負債		
長期借入金	2,842,443	2,153,635
繰延税金負債	1,194,908	1,195,216
再評価に係る繰延税金負債	151,614	151,614
退職給付引当金	682,675	773,332
負ののれん	252	1,008
固定負債合計	4,871,892	4,274,805
負債合計	14,888,695	13,453,895

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,087,343	2,087,343
資本剰余金		86
利益剰余金	△170,970	575,731
自己株式	△17,762	△16,282
株主資本合計	1,898,611	2,646,878
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△203,511	△47,791
土地再評価差額金	209,389	209,389
為替換算調整勘定	△48,190	△29,785
評価・換算差額等合計	△42,312	131,813
少数株主持分	75,302	68,581
純資産合計	1,931,601	2,847,272
負債純資産合計	16,820,296	16,301,167

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	12,161,533
売上原価	10,386,886
売上総利益	1,774,647
販売費及び一般管理費	2,399,280
営業損失(△)	△624,633
営業外収益	
受取利息	810
受取配当金	27,609
持分法による投資利益	7,583
雑収入	30,216
営業外収益合計	66,218
営業外費用	
支払利息	82,393
手形売却損	11,819
雑損失	20,504
営業外費用合計	114,716
経常損失(△)	△673,131
特別損失	
固定資産除却損	15,203
貸倒引当金繰入額	3,000
投資有価証券評価損	13,675
特別損失合計	31,878
税金等調整前四半期純損失(△)	△705,009
法人税、住民税及び事業税	33,238
法人税等調整額	1,099
法人税等合計	34,337
少数株主利益	7,257
四半期純損失(△)	△746,603

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	3,791,175
売上原価	3,289,131
売上総利益	502,044
販売費及び一般管理費	784,791
営業損失(△)	△282,747
営業外収益	
受取利息	120
受取配当金	6,355
持分法による投資利益	1,886
雑収入	7,065
営業外収益合計	15,426
営業外費用	
支払利息	34,628
手形売却損	3,896
雑損失	1,883
営業外費用合計	40,407
経常損失(△)	△307,728
特別損失	
投資有価証券評価損	12,103
特別損失合計	12,103
税金等調整前四半期純損失(△)	△319,831
法人税、住民税及び事業税	△2,945
法人税等調整額	271
法人税等合計	△2,674
少数株主損失(△)	△3,150
四半期純損失(△)	△314,007

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△705,009
減価償却費	193,027
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△114
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△90,657
受取利息及び受取配当金	△28,419
支払利息	82,393
固定資産除却損	15,203
投資有価証券評価損益(△は益)	13,675
持分法による投資損益(△は益)	△7,583
売上債権の増減額(△は増加)	△179,942
たな卸資産の増減額(△は増加)	△355,967
仕入債務の増減額(△は減少)	416,226
その他	△118,722
小計	△765,889
利息及び配当金の受取額	53,475
利息の支払額	△75,892
法人税等の支払額	△25,827
営業活動によるキャッシュ・フロー	△814,133
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△471,414
無形固定資産の取得による支出	△13,587
その他の支出	△2,237
投資活動によるキャッシュ・フロー	△487,238
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	250,000
長期借入れによる収入	1,950,000
長期借入金の返済による支出	△921,304
その他の支出	△1,664
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,277,032
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△24,339
現金及び現金同等物の期首残高	825,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	801,174

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	塗料事業 (千円)	化成品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,776,376	2,385,157	12,161,533	—	12,161,533
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	9,776,376	2,385,157	12,161,533	(—)	12,161,533
営業利益又は営業損失(△)	△505,995	239,335	△266,660	(357,973)	△624,633

(注) 1 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は、用途の違いにより塗料事業と化成品事業に区分しております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
塗料事業	建築、鉄材構造物、車両、建設資材、機械金属、皮革、道路標示用等各種塗料塗装工事請負、塗料関連設備機器
化成品事業	アクリルゴム、接着剤

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	アジア地域 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)
I 海外売上高	1,228,600	57,300	1,285,900
II 連結売上高	—	—	12,161,533
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.1	0.5	10.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア地域・・・韓国、台湾

(2) その他の地域・・・イタリア

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考資料」

前年同四半期にかかる財務諸表

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区分	
I 売上高	12,719,926
II 売上原価	10,245,691
売上総利益	2,474,235
III 販売費及び一般管理費	2,532,978
営業損失(△)	△ 58,743
IV 営業外収益	118,051
1 受取利息	1,304
2 受取配当金	30,296
3 持分法による投資利益	26,100
4 雑収入	60,351
V 営業外費用	127,820
1 支払利息	71,713
2 手形売却損	9,738
3 雑損失	46,369
経常損失(△)	△ 68,512
VI 特別利益	47,017
VII 特別損失	4,010
税金等調整前 四半期純損失(△)	△ 25,505
法人税、住民税及び事業税	22,384
法人税等調整額	380
少数株主利益	14,162
四半期純損失(△)	△ 62,431

(2) (要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前中間純損益	△ 25,505
2 減価償却費	169,079
3 土地売却益	△ 47,017
4 有形固定資産売却損	4,010
5 負ののれんの償却額	△ 756
6 貸倒引当金の増減額	4,348
7 退職給付引当金の増減額	△ 102,588
8 受取利息及び受取配当金	△ 31,600
9 支払利息	71,713
10 持分法による投資損益	△ 26,100
11 クレーム補償損失	6,184
12 売上債権の増減額	△ 86,240
13 たな卸資産の増減額	△ 304,664
14 仕入債務の増減額	456,907
15 その他	△ 90,559
小計	△ 2,788
16 利息及び配当金の受取額	31,600
17 利息の支払額	△ 71,708
18 クレーム補償の支払額	△ 6,184
19 法人税等の支払額	△ 22,524
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 71,604
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形固定資産の取得による支出	△ 204,647
2 有形固定資産の売却による収入	229,057
3 投資有価証券の取得による支出	△ 49,719
4 投資有価証券の売却による収入	8,000
5 貸付金の回収による収入	413
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,896
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増減額	168,000
2 長期借入れによる収入	1,000,000
3 長期借入金の返済による支出	△ 921,681
4 その他	△ 2,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	244,312
IV 現金及び現金同等物の増減額	155,812
V 現金及び現金同等物の期首残高	909,338
VI 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,065,150